

授 業 概 要

課程	医療専門課程	学科	作業療法科	科目名	セミナー 4年生	
学年	学期	履修	授業形態	授業回数	授業時間数	単位数
4年生	通年	必修	講義	30回(コマ)	60時間	4単位
科目担当教員	遠藤 陵晃			科目に関連する 実務経験の有無	有	
科目に関連する 教員背景	作業療法士として病院に勤務					
【一般教育目標（GIO）】 ・ 総合臨床実習に向けて職業人としての基本的な行動がとれるようになる。 ・ 作業療法研究の基礎を学び自身の研究のテーマや材料を選び取れるようになる。						
【目標行動（SBOs）】 ・ 実習記録の書き方や観察の視点を学び実践できる。 ・ 報告や連絡、確認、相談など日々練習を行い、その必要性を説明できるようになる。 ・ 学習計画を立案し、主体的に時間管理ができるようになる。 ・ 研究の方法を学び、各自材料の収集を練習し、テーマ選択が導けるようになる。						
回数	日程	授業計画または学習の主題		回数	日程	授業計画または学習の主題
1		オリエンテーション、実習・就職		16		後期オリエンテーション
2		学習および自己課題計画、学内3科目模試振り返り		17		就職関連
3		実習準備（個人資料など）		18		国家試験対策①
4		実習準備（ICFなど）		19		国家試験対策②
5		実習準備（ADLなど）		20		国家試験対策③
6		実習準備（触診など）		21		国家試験対策④
7		実習準備（トランスファーなど）		22		国家試験対策⑤
8		国家試験対策①		23		国家試験対策⑥
9		国家試験対策②		24		個人ワーク
10		国家試験対策③		25		グループワーク①
11		国家試験対策④		26		グループワーク②
12		学内模試①		27		3年生実習アドバイス
13		学内模試②		28		ウエルカムフェスタ準備
14		学内模試③		29		ウエルカムフェスタ準備
15		学内模試④		30		クリスマス礼拝
使用テキスト				参考テキスト		
スタディスキル・トレーニング改訂版／吉原恵子他／実教出版 PT・OT臨床実習ガイドブック／京極真、鈴木憲雄／誠信書房 岡村 祐聡著：POSを活用するすべての医療者のための SOAPパーフェクト・トレーニング Part2.診断と治療社、初版				学生のレポート・論文作成トレーニング／桑田てるみ／実教出版		
この授業の基礎となる科目				この授業を基礎とした科目		
臨床実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、作業療法演習Ⅰ セミナー（1、2、3年）				臨床実習Ⅳ、Ⅴ、作業療法研究B		
単位認定の方法及び基準				試験やレポートの評価基準など		
参加態度（20％）、課題（80％）				課題及び定期試験60点以上を基準とした総合的判断により単位取得とします。		

授 業 概 要

課程		医療専門課程		学科	作業療法科		科目名	作業療法治療学演習Ⅰ		
学年		学期	履修	授業形態		授業回数		授業時間数		単位数
4年生		前期	必修	講義		15回(コマ)		30時間		2単位
科目担当教員		遠藤 陵晃				科目に関連する 実務経験の有無			有	
科目に関連する 教員背景		作業療法士として病院に勤務								
【一般教育目標（GIO）】										
・臨床医学および作業療法治療学を基盤とし、対象者へ具体的な身障系作業療法介入の一連の流れを立案できる。										
・身障系作業療法介入において、必要となる評価技法/治療技法などを実施できる。										
【目標行動（SBOs）】										
・模擬患者に対して、障害像に合わせた評価を実施・測定することができる。										
・診療記録など記録物へ指定の記録方法で記載することができる。										
・事例検討を通じ、作業療法介入目的・方法・考察・目標設定・再評価などを系統だてて立案できる。										
・臨床現場で行われている介入方法を体験および説明できる。										
回数	日程	授業計画または学習の主題								
1	4/7	オリエンテーション 作業療法について考える								
2	4/22	姿勢・動作分析（臥位～立位）								
3	4/22	座位・立位バランス指導								
4	5/13	歩行周期・歩行分析①								
5	5/13	歩行周期・歩行分析②								
6	4/17	ADL動作分析								
7	5/6	触診								
8	4/15	嚥下機能評価と治療吸、吸引指導について①								
9	4/15	嚥下機能評価と治療吸、吸引指導について②								
10	4/28	高度急性期の作業療法、インシデント・アクシデント対応								
11	5/20	車椅子駆動指導、実技、トランスファー指導、実技体験								
12	4/8	事例検討（ICF）								
13	4/24	事例検討（ICF）								
14	5/27	在宅医療と作業療法（多職種連携）①								
15	5/27	在宅医療と作業療法（多職種連携）②								
使用テキスト						参考テキスト				
15レクチャーシリーズ「運動学」／石川朗ほか／中山書店、15レクチャーシリーズ「運動学実習」／石川朗／中山書店、 運動療法のための機能解剖学的触診技術 上肢 改訂第2版 高齢期作業療法学/松房利憲ほか/医学書院						動作分析臨床活用講座／石井慎一郎／メジカルビュー社 15レクチャーシリーズ「臨床運動学」／石川朗／中山書店 基礎運動学/中村隆一ほか/医歯薬出版 PT・OTのための臨床技能とOSCE 機能障害・能力低下への介入編/古藤学 監修/金原山正				
この授業の基礎となる科目						この授業を基礎とした科目				
解剖学、生理学、運動学、各身体障害の評価学、神経内科学、リハビリテーション医学など						作業療法演習Ⅰ、各臨床実習など				
単位認定の方法及び基準						試験やレポートの評価基準など				
授業参加態度（5％）、各授業課題（45％）、 課題レポート（50％）						総合評価で60％以上を合格とする				

授 業 概 要

課程	医療専門課程	学科	作業療法科	科目名	作業療法学研究 A	
学年	学期	履修	授業形態	授業回数	授業時間数	単位数
4年生	集中	必修	演習	90回(コマ)	180時間	6単位
科目担当教員	遠藤 陵晃 他			科目に関連する 実務経験の有無	有	
科目に関連する 教員背景	作業療法士として病院に勤務 学会等における研究発表の経験有					
【一般教育目標（GIO）】 作業療法研究を実施し、課題解決のための問題点の抽出、研究計画、実施の一連の過程を理解できる。また、研究論文などの作成と公表の方法を実践できる。						
【目標行動（SBO s）】 ・ 基本的な研究方法の知識をもち、文献・統計資料等を読み、支援を受けながら成果を解釈できる。 ・ 症例報告やケーススタディ等の研究を、指導を受けながら、計画・実施できる。 ・ 実施した研究の成果等を文章化およびプレゼンテーション資料を作成し公表することができる。						
回数	授業計画または学習の主題					
1～11	臨床実習Ⅲの事例振り					
10～23	事例検討（教科書、先行文献などから事例の振り返り）					
24～37	事例検討（問題点・利点の再抽出、再考察、目標設定）					
38～45	臨床実習Ⅲのレジュメの再作成・発表練習					
46～57	研究疑問、研究テーマの決定、研究計画の立案					
58～71	研究実施、文献検索など					
72～83	論文作成、発表資料の作成					
84～90	論文完成・レジュメ作成・発表練習					
使用テキスト				参考テキスト		
配布プリント				標準作業療法学 専門分野 作業療法研究法第2版／山田孝 他／医学書院 この1冊できちんと書ける！論文・レポートの基本／石黒圭／日本実業出版		
この授業の基礎となる科目				この授業を基礎とした科目		
作業療法評価学・治療学、専門基礎系科目、セミナー・臨床実習				総合臨床実習		
単位認定の方法及び基準				試験やレポートの評価基準など		
提出書類内容(ワークシート、最終提出物): 4 5 % 受講態度(締切厳守、個人・グループワーク): 2 0 % 発表態度(中間発表会、卒業研究発表会): 3 5 %				総合評価で60%以上を合格とする		

授 業 概 要

課程	医療専門課程	学科	作業療法科	科目名	作業療法学研究B	
学年	学期	履修	授業形態	授業回数	授業時間数	単位数
4年生	通年	必修	講義	30回(コマ)	60時間	4単位
科目担当教員	遠藤 陵晃			科目に関連する 実務経験の有無	有	
科目に関連する 教員背景	作業療法士として病院・介護老人保健施設等で勤務					
【一般教育目標（GIO）】						
・ 職業人としての基本的な行動がとれるようになる。						
・ 国家試験合格に必要な基礎医学・臨床医学・障害別作業療法学などの知識を再確認し強化する。						
【目標行動（SBO s）】						
・ 個々の達成目標を設定し、そのための具体的学習方法やスケジュールを設定できる。						
・ 少人数ゼミ形式で、各自の役割に沿って、自主的に学習を進めることができる。						
・ 模擬試験において、国家試験合格を目指せる得点を取ることができる。						
回数	日程	授業計画または学習の主題		回数	日程	授業計画または学習の主題
1		オリエンテーション、単元別小テスト①		16		医歯薬模試②
2		医歯薬模試①		17		医歯薬模試②
3		医歯薬模試①		18		小テスト⑩
4		小テスト②		19		学内模試④
5		小テスト③		20		学内模試④
6		小テスト④		21		学内模試⑤
7		小テスト⑤		22		学内模試⑤
8		学内模試②		23		小テスト⑪
9		学内模試②		24		医歯薬模試③
10		小テスト⑥		25		医歯薬模試③
11		小テスト⑦		26		学内模試⑥
12		小テスト⑧		27		学内模試⑥
13		学内模試③		28		小テスト⑫
14		学内模試③		29		学内模試⑦
15		小テスト⑨		30		学内模試⑦
使用テキスト				参考テキスト		
①クエスチョンバンク 作業療法士国家試験問題解説専門問題2024版／医療情報科学研究所 編／メディックメディア②クエスチョンバンク理学療法士作業療法士国家試験問題解説共通問題2024版／医療情報科学研究所 編／メディックメディア③PT/OT国家試験必修ポイント 専門基礎分野 臨床医学2024／医歯薬出版④PT/OT国家試験必修ポイント 専門基礎分野 基礎医学2024／医歯薬出版				①PT/OT国家試験必修ポイント 障害別OT治療学2024／医歯薬出版②PT/OT国家試験必修ポイント 基礎OT学2024／医歯薬出版③PT・OT国家試験共通問題 できるもん・でたもん 一問一答!! 2019/医学書院④OT国家試験専門問題 できるもん・でたもん 一問一答!! 2022/医学書院		
この授業の基礎となる科目				この授業を基礎とした科目		
解剖学、生理学、運動学および各疾患学、各評価学、各治療学、臨床実習						
単位認定の方法及び基準				試験やレポートの評価基準など		
参加態度（10％）、模擬試験（50％）、確認テスト（40％）				課題及び定期試験60点以上を基準とした総合的判断により単位取得とします。		